

社会医療法人 共愛会広報誌

Tsunagaru

[つながる]

Take free

ご自由にお持ち帰り下さい

vol 86
Winter



特集：戸畠リハビリテーション病院

戸畠リハビリテーション病院

当院は平成15年に開設し、20年目を迎える。この間、時の経過と共に社会も大きく変わりました。が、私達も時代の変化を見越した整備を進めながら、変革し続けております。

当初は3病棟133床でスタート致しましたが、現在は回復期リハビリテーション病棟（整形外科術後や脳卒中後の患者様を主体に日常生活、社会復帰を目指す）2病棟74床、地域包括ケア病棟（疾患に拘わらず地域医療を支える）2病棟82

床、及び緩和ケア病棟（がん）に向き合う方を支える）17床以上の計5病棟173床で運営しております。
病院名に示すリハビリテーション機能を基軸にしながら、昨今急速に進められている地域医療の構築に向けては、地域包括ケア病棟を整備し、在宅療養支援病院として在宅医療・外来部門の再編、及びこれらを活かすための連携部門の充実を進めています。またこれまで培ってきたリハビリ・栄養管理・緩和ケアなどの能力を活かしながら、地域社会

の活動にも参画致しております。これらの目的は地域の先生方はじめ医療・介護機関、或いは行政との協働のもとで、一体となつて地域の住民の皆様を支え続けることになります。今後も「時々入院、ほぼ在宅」という地域医療の理想形を支えるために努力を続けて参ります。

皆様との連携を緊密に進めるこどにより、更に地域に根差した医療機関へと発展を図っていく所存です。一層のご活用のほどお願い申上げます。



院長

剣持 邦彦

●日本臨床栄養代謝学会認定医

●日本外科学会指導医・専門医認定医

「診断」「治療」 そして「支援」です。

リハビリテーション診療 3つのポイント

どのような症状に困っていて、これから先、何が必要なのが見極める、これがリハビリテーション診断。身体や脳の機能向上のために、技術や機器を組み合わせて訓練を行う、これがリハビリテーション治療。そして、家庭や社会での活動を、環境調整（住宅改修など）や社会的資源（介護サービス利用など）によって支える体制づくり、これがリハビリテーション支援です。

様々な疾患で入院リハビリテーションが必要になった方々に、当院でも看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、管理栄養士、薬剤師など、多くの職種がチーム医療として治療にあたっています。定期的に行うカウンタレンスは、患者様ご家族様と担当の全職種が参加して、リハビリテーション訓練の進捗状況の報告や退院後に必要な支援を具体的に検討していく、とても重要な場となります。退院後的生活につながるように、かかりつけの医師や看護師、ケアマネ

●これから先の見極め

●身体や脳の機能向上訓練

●診断

●環境調整
●社会的資源調整

●治療
●支援

理学療法士
津々見 勇介リハビリテーション科部長
奥 史佳

●日本リハビリテーション医学会専門医・指導医

作業療法士 部門長
大坊 昌代

●

院後に必要な支援を具体的に検討していく、とても重要な場となります。退院後的生活につながるように、かかりつけの医師や看護師、ケアマネ

回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、機能の回復や日常生活で必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目的とした病棟です。急性期の治療を終えた患者様が、自宅や社会に戻った時の生活を少しでも以前に近い状態に近づけるため、集中的なリハビリテーションを行います。

回復期に入院するためには条件があり、しかも対象疾患ごとに入院期間が定められています。当院では法人内の戸畠共立病院からだけでなく、他の急性期の病院からも適用疾患対象患者様をできるだけ早期に受け入れています。

医師をはじめとした各職種がチームとなり、疾患の経過や動作状態だけでなく、退院後の生活を見据えた目標設定を行います。その後、必要な処置管理など指導の予定を組み、定期的なカンファレンスを患者様・ご家族様を交えて行います。病棟では起床から就寝までの1日を生活リハビリとして捉え、回復の支援としています。

2階北病棟 看護師長
あしかり しゅういち
芦刈 修一



地域包括ケア病棟

戸畠リハビリテーション病院

地域包括ケア病棟は、急性期病院での治療を終え、病状が安定した後、在宅復帰にむけて診療、看護、リハビリテーションを行うことを目的に入院する病棟です。また、在宅療養中で一時的に入院が必要になった方、在宅介護をされている方の肉体的、精神的な疲労緩和と介護教育等を目的とした入院も受け入れております。

回復期リハビリテーション病棟は脳血管疾患、大腿骨・骨盤等の骨折など入院適応となる疾患や病状に指定がありますが、地域包括ケア病棟は疾患に関係なく患者様の病状に応じて包括的にリハビリテーションを提供できます。

地域包括ケア病棟に入院できる最大日数は60日です。この期限内に安心して自宅などに退院できるよう医師、看護師、リハビリ職員、ソーシャルワーカーと日々のカンファレンスを重ね、病院と在宅との架け橋となれるよう退院支援を行っています。

4階病棟 看護師長
なかしま みき
中島 美貴



緩和ケア病棟

緩和ケア病棟の基本方針は「私たちは、心や身体の痛みを和らげ、あなたらしく生きることを支えます」です。これを基に、病棟スタッフは患者様とご家族様に関わっています。

がんを患うと、これから的生活を考えたときに、人生をどう過ごしていくのか、ということを考えられることが増えると思います。入院前の面接時から、「残された時間を患者様とご家族様がどう過ごしたいか」という思いを確認して、がんによる身体の苦痛と心の苦悩の緩和の検討を重ねます。そこで、在宅療養の希望がある方は医療・介護サービスの調整を行い、ご自宅で過ごしながら最期を迎えた方もいらっしゃいます。なお、当病棟では面会と付き添いも可能です。

退院後はご家族様よりお手紙での近況の報告をいただくこともあります。また、定期的に開催される遺族会でも、ご家族様のこれまでのいろいろな思いやお声をいただく機会を設けています。お気軽にご相談ください。

5階病棟 看護師長
よこたみほ
横田美保



総合リハビリセンター

戸畠リハビリテーション病院

退院後、自立度が高く医療依存度が低い方は自主訓練や社会活動などで状態を維持できます。しかし、そうでない方の場合には外出頻度や活動量が減り、身体機能低下、症状増悪、自宅での閉じこもり等から要介護状態に陥ることも少なくありません。

当院退院後には、医療保険で行う外来リハビリ、介護保険を利用する短時間通所リハビリと訪問リハビリが利用できます。また、疾病予防運動施設のR·EX(レックス)戸畠があり、地域の方々のリハビリニーズに対応できるサービスが整っています。

1階フロアにある総合リハビリセンターでは、「みんなでリハビリ、みんなでサポート」という方針を掲げ、ご利用者様の情報を共有し、道具・器具だけでなくそれぞれの専門知識や技術も共有する取り組みを進めています。

そして、入院中に改善しきれなかつた運動機能を向上したり、生活する上で生じた問題を解決していくよう取り組んでまいります。

リハビリテーション科
みつやす ゆうた
光安 勇太
●運動器認定理学療法士



在宅訪問看護師

interview

「住み慣れた場所で、最期まで家族と過ごしたい」との気持ちを大切に医師と訪問診察に伺います。月に2度ほどの訪問で、定期的かつ計画的に診察・治療・薬の処方、療養上の相談や指導を行う事で容態悪化の予防や施設にいながらの長期療養も可能になります。

また、入院が必要となつた場合も入院先医療機関と連携しスムーズな対応を行います。緊急時には夜間や休日を問わず、24時間365日体制で電話対応や往診、救急車の要請などを行うため、安心して過ごして頂けます。また、自宅での看取りにも対応いたします。

私達は、患者様が「自分の望む生活の場」で最期まで人としての尊厳を保ちながら生を全うし、「家族との時間を穩やかに過ごせる事を心より望んでおりります。



interview

戸畠リハビリテーション病院 地域連携室

地域連携室は、ソーシャルワーカー6名、看護師3名、事務（理学療法士）1名で構成しています。日々の入退院、患者様やご家族からの医療相談業務に加え、入院中に患者様が安心して過ごすことができるような支援にも取り組んでいます。

入院においては、急性期病院からの転院依頼や地域の医療機関からご紹介いただきました。患者様の依頼には、早期に入院ができるような対応を心がけております。

また、患者様の退院後の生活を見据えて医師、看護師、関係部署と協働し、入院早期からご家族様をはじめ、ケアマネジャー・介護サービス事業所、介護福祉施設等とも連携を図り、退院後も安心して生活が過ごせるよう支援しています。

今後も、地域の先生方や住民の方々に安心、信頼してご活用していただける病院を目指して、地域連携室職員一同、日々努力していきたいと考えております。



地域連携室 主任
君原 啓雄
●理学療法士
●認知症ケア専門士

interview

戸畠リハビリテーション病院 地域連携室

地域連携室は、ソーシャルワーカー6名、看護師3名、事務（理学療法士）1名で構成しています。日々の入退院、患者様やご家族からの医療相談業務に加え、入院中に患者様が安心して過ごすことができるような支援にも取り組んでいます。

入院においては、急性期病院からの転院依頼や地域の医療機関からご紹介いただきました。患者様の依頼には、早期に入院ができるような対応を心がけております。

また、患者様の退院後の生活を見据えて医師、看護師、関係部署と協働し、入院早期からご家族様をはじめ、ケアマネジャー・介護サービス事業所、介護福祉施設等とも連携を図り、退院後も安心して生活が過ごせるよう支援しています。

今後も、地域の先生方や住民の方々に安心、信頼してご活用していただける病院を目指して、地域連携室職員一同、日々努力していきたいと考えております。

今回の旬の食材

[長芋]



長芋にはデンプンを分解する消化酵素が多く含まれ、芋類では珍しく生で食べられます。他の芋類と比べ糖質が少なくエネルギーが低く、食後の血糖値の急上昇を防ぐ食物繊維や体内の水分バランスを整えるカリウム、疲労回復を促すアルギニンやビタミンB群を含みます。12~1月に出回る秋掘り物は、皮が薄くアクも少なくみずみずしいのが特徴です。



栄養士
オススメ!

旬の簡単レシピ

かるかん

エネルギー
(1名分)
102
キロカロリー

材料(8名分)

14×11×4cmの流し缶1本分

・長芋	100g
・米粉	90g
・グラニュー糖	80g
・水	70ml
・卵白	1個分
・甘納豆	30g

作り方

- 長芋は、洗って皮をむき、すりおろす。
- ①にグラニュー糖の2/3量を入れて、しっかりと泡立てる。そこに水を3~4回に分けて入れよく混ぜる。
- 別のボウルに卵白と残りのグラニュー糖を入れて、角が立つまでしっかりと泡立てる。
- ②に米粉を加えてなめらかになるまでよく混ぜ、③の卵白を2回に分けて混ぜ合わせる。
- ④に甘納豆を入れて軽く混ぜ、クッキングシートを敷いた流し缶に入れ、蒸氣の上がった蒸し器で20分程度蒸す。
- 流し缶から出し、8等分に切る。



あやめの里
栄養科主任
はなだ あやか
花田 礼香



あやめの里
栄養科主任
ありた じゅんろう
有田 潤郎



Work and Private

Q. あなたの趣味は何ですか?

A. 天体観察です。星を望遠鏡で観察したり、プラネタリウム鑑賞などをしています。

Q. それはいつから始めましたか?

A. 高校生の頃、山が近くにあり、星がよく見えていたことから興味を持ち始めました。

Q. 趣味にまつわるエピソードは?

A. プラネタリウム鑑賞のために東京まで、日本初の天文台を見るために岡山へ旅行したり、と星のために全国各地を訪問しています。

スタッフの仕事とプライベートを
みなさまにご紹介します

私の ONとOFF

私は法人本部の資材施設課という部署に所属しています。院内OA機器の保守管理が主業務のため、患者様ご利用者様と直接関わる機会は少ないのでですが、機器のトラブルにより診療業務が滞ると患者様にご迷惑をおかけすることになります。
そのため、自分の仕事の先には患者様ご利用者様がいることを常に意識し業務に取り組んでいます。これからもより良いサービスの提供のために、迅速な保守対応を心がけていきます。



さかもと ひろき
坂本 浩樹

法人本部 資材施設課
● 危険物取扱者免許
● 第二種電気工事士
● 情報処理技術者(ITパスポート試験)

常に仕事の先を意識して

自立支援に向けた助言や 訪問による支援を実施。



戸畠リハビリテーション病院では、北九州市の委託事業としてケアマネジャーや介護サービス事業所、地域包括支援センター等を対象に、自立支援に向けた助言や訪問による支援を実施しています。対象エリアなど詳しくは、「北九州市リハビリテーション相談支援事業」で検索してください。

北九州市 リハビリテーション相談支援事業

Tsunagaru

第86号 令和5年1月発行



表紙のイラスト

八坂神社
(小倉北区)

社会医療法人 共愛会 <https://www.kyoikai.com>



広報誌アンケート実施中!
あなたの声を聞かせてください

救急告示病院 地域医療支援病院 へき地医療拠点病院 災害拠点病院
地域がん診療連携拠点病院 管理型臨床研修病院 特定行為研修指定研修機関
日本がん診療認定医機構認定研修施設 開放型病院届出施設 日本医療機能評価機構認定病院
戸畠共立病院 tel.093-871-5421
※救急患者は休日・夜間でも受付致します。

女性検診レディック
戸畠共立病院 健診センター tel.093-871-6025

日本医療機能評価機構認定病院(主機能リハビリテーション病院／副機能:緩和ケア病院)
日本臨床栄養代謝学会(NST)認定教育施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本緩和医療学会認定研修施設
在宅療養支援病院

戸畠リハビリテーション病院 tel.093-861-1500

在宅療養支援診療所
明治町クリニック tel.093-871-3655

住宅型有料老人ホーム
サンセリテ明治町 tel.093-871-3711

明治町デイサービスセンター
tel.093-861-1765

介護老人保健施設
あやめの里 tel.093-871-5902

メディカルフィットネスR·EX戸畠
tel.093-861-1746

ケアハウスあやめ
tel.093-861-1663

福祉用具レンタル・販売・住宅改修
あやめレンタルサービス tel.093-871-3712

共愛会ケアプランサービス
tel.093-861-1511

あやめ在宅ケアセンター

- ・あやめ訪問看護ステーション
tel.093-871-5917
- ・あやめケアプランサービスステーション
tel.093-873-8317
- ・あやめヘルパーステーション
tel.093-873-8327
- ・あやめ巡回ステーション
tel.093-871-4571

共愛会法人本部
tel.093-330-0032

共愛会健康保険組合
tel.093-871-6151

SNSもご覧ください >>>



facebook



Instagram



YouTube